

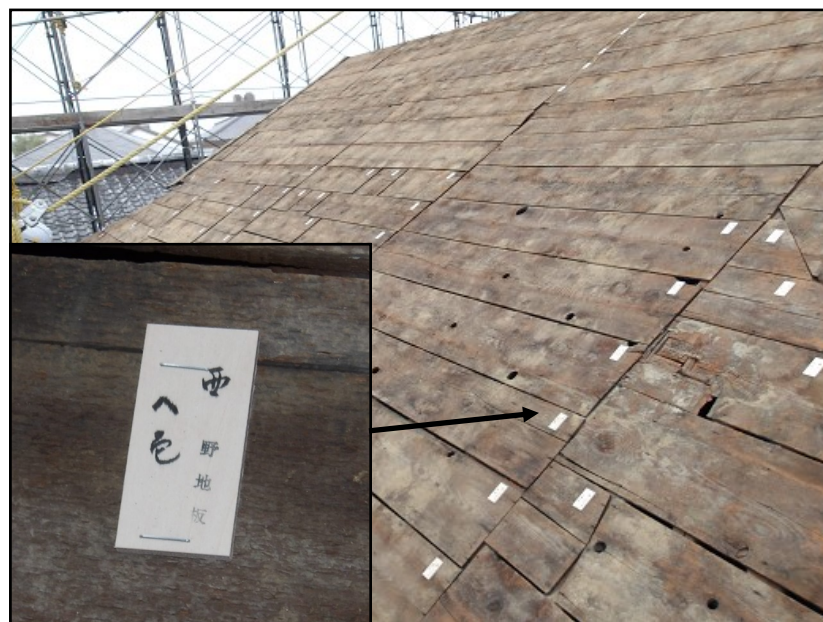
合田邸通信 vol.5

令和6年4月15日

「えじぷとの間」保全工事及び調査は昨年度から継続して実施されています。現在は瓦が取り除かれた後に露出した野地板の取外しに取り掛かっています。野地板一つ一つに番付（写真①）をして、それぞれの場所を記録・調査しながら徐々に取り外しています（写真②）。

野地板がむき出しになった状態で分かったことは、野地板は柾（ツガ）材ではないかということ、また「秋田木材株式会社製」「OSAKA」などと印字（写真③）されており、昭和初期のアメリカからの初期の輸入材ではないかということなどが分かってきました。

これ以降は桁や柱、垂木などの傷み具合を調査し、今後「えじぷとの間」をどのように保全していくかを検討していきます。



① 野地板番付



② 野地板取り外し



③ 野地板の印字